

社長通信

株式会社 福島人材派遣センター
代表取締役社長 安田 敬

2019年1月号

Vol.13



新年 明けまして、おめでとうございます。
皆様、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年は、働き方改革が更にすすみ、法令改正など多くの課題が業界に求められております。派遣社員の皆様、派遣先企業の皆様とともに、しっかりと対応をして参ります。皆様にとって実り多き一年になること事を、ご祈念申し上げます。
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

今年の抱負・目標

福島 コラッセ登録センター

新たな出会い、新たな挑戦が出来る事に感謝。
社員の皆様とご家族の幸せを願います。

代表取締役社長 安田 敬

今日の出会いを大切に

顧問 会田 央昭

人との出会いを大切に。
心に余裕を持って仕事をする。

総務マネージャー 吉田 恵美

新しいことにチャレンジ!!

営業マネージャー 太宰 文恵

感謝の気持ちを忘れず、仕事に取り組みます。

コーディネーター 寺崎 亜紀子

郡山 ビッグアイ登録センター

夢と目標を抱き、楽しみながら実現する。

営業本部長 兼 郡山支社長 北浦 典子

新年度の自己目標として、
常に研鑽に励み自己レベルの向上を目指す!!

室長 大柿 貞夫

一步一步、日々精進

マネージャー 高田 裕希

一日一生

営業マネージャー 橋本 亜矢

初心を振り返りながら、これからの自分を見つめ直す。

営業担当 渡部 ミツ子

失敗を恐れず 何事にも挑戦する。

コーディネーター 菊地 かおり

考えて終わりではなく思いを行動に移す。

コーディネーター 橋本 千晴



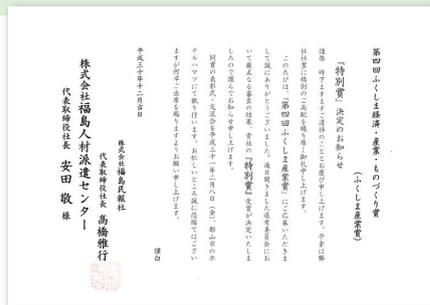
活動報告

取り組み その1

第4回 ふくしま産業賞「特別賞」を受賞致しました。

12月5日付け福島民報新聞にて、弊社の「ふくしま産業賞 特別賞」受賞の記事が掲載されましたのでご報告申し上げます。

会社創業以来取り組んで参りました「女性の働き方支援」が評価され、嬉しい受賞の運びとなりました。これもひとえに派遣社員の皆様、お取引様企業の皆様をはじめ、関係各位の皆様のご支援ご協力の賜物と感謝申し上げます。社員一同、切磋琢磨して地域社会に貢献できる人財ビジネスを展開して参ります。引き続き弊社へのご支援ご協力をお願い申し上げます。



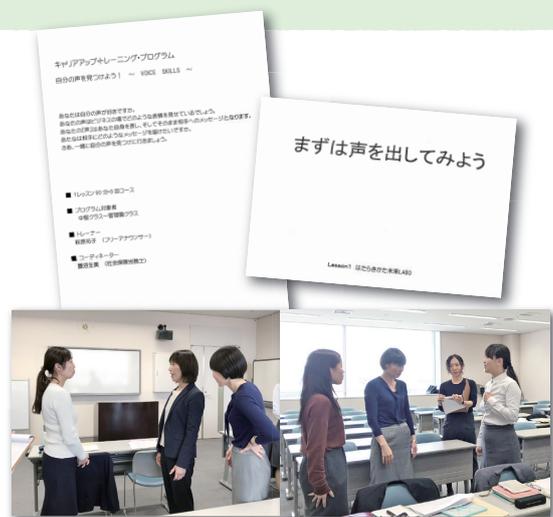
取り組み その2

社内研修風景

12月14日、郡山市ビッグアイ7F 第三会議室にて社内セミナーを開催致しました。中堅社員、幹部社員総勢7名が受講致しました。

声を通じて、個人がスキルを上げ会社ブランディングの構築まで出来ればと考えております。

初回から、様々な気づきもあり有意義なセミナーになりました。第一回は企業における社員それぞれの特性を活かした声の大切さや呼吸法、自分の伝わりやすい声を確認。基礎全般を習得致しました。次回は1月開催予定です。



今、注目されてる話題をご紹介 人財ビジネス日記

≫ノーベル賞受賞者 本庶 佑氏の言葉

昨年のノーベル生理学・医学賞に選ばれた、本庶佑氏が日本政府や日本企業に向けたコメントが話題になりました。

「イノベーションを起こす。政府は結果を強調せず、足元の基礎学力をみにつける土壌づくりと種まきに徹すること。日本の基礎学術は明治時代から始まった。150年経ってようやく花が開いた。次の150年をどのようにしていくべきかという視点で物事を考えるべきだ。」産学連携にもふれられ、「日

本の製薬会社は集約が進まず個々の研究開発力が弱いため、目利き力が弱い。経営者や役員に医学博士や研究者が少ないのは疑問である。」

世界で活躍される本庶氏の言葉には説得力があります。

最近の世の中は、ものごとを短期的にとらえ、結果ばかりを求め、能力を活かしきれない社会のジレンマを感じます。もっとゆっくり、自分を見つめなおす時間を持ったり、家族や社員と夢を語りあったり。本質を求めあったり。

本庶さんは、開発研究を通して、日本社会のかたちに一石を投じました。

家庭はわたしたちの生活を支え、会社は働く社員の皆さんが活躍できる環境を用意する。

基礎学術を私たちの生活の基盤と思うと、これからの人生100年をどのような形にしていくのか、とても楽しみに感じます。

家庭にも、企業にも目利きになる人財の育成が大切です。今年は、この目利き人財の育成にしっかりと取り組みたいと思います。

